

耐震について

About Earthquake resistance

学校施設は、学生が1日の大半を過ごす学びと活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難所としての役割も果たすことから、その安全性は極めて重要です。

学校施設の耐震化は、国を挙げての急務とされており、耐震化に積極的に取り組んでいく必要があります。

新渡戸文化短期大学では広く情報をオープンにし、学生と保護者の方々に安心して頂くため耐震化の実態を公開します。

【耐震化率】

1981年(昭和56年)以降に建設された新耐震基準準拠の建物及びそれ以前に建設された建物、全ての建物が耐震補強工事実施済で、耐震化率は100%です。

新渡戸文化短期大学耐震化率

建物名	竣工年	耐震対策
1号館	1936(昭和11)年	耐震工事済:2012(平成24)年
2号館	1963(昭和38)年～ 1976(昭和51)年	耐震工事済:2010(平成22)年
7号館(体育館)	1981(昭和56)年	新耐震基準準拠建物(診断済)
臨検校舎	1987(昭和62)年	新耐震基準準拠建物

〈耐震化率とは〉

1981にできた「新耐震基準」に基づいて設計された新しい建物と、同基準ができる前の建物であっても、補強工事を済ませた建物ならば、耐震性があると認められる。それらの建物の延床面積を、全体の延床面積で割った割合が「耐震化率」。